第２期末（2025年２月５日）	
基　準　価　額	14,321円
純　資　産　総　額	23,549百万円
第２期	
騰　落　率	12.9%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

●交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

●当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。当社ホームページにアクセスし、「ファンド情報」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

●運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を希望される方は、販売会社までお問い合わせください。

日米連続好配当株式ファンド
愛称：配当のチカラ

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第２期（決算日2025年２月５日）

作成対象期間（2024年２月６日～2025年２月５日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、「日米連続好配当株式ファンド」は、2025年２月５日に第２期の決算を行いました。

当ファンドは、主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主として日本および米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っています。

ここに期間中の運用状況についてご報告申しあげます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

スカイオーシャン・アセットマネジメント

〒220-8611　神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1

＜照会先＞　ホームページ：https://www.soam.co.jp/
サポートデスク：045-225-1651
（受付時間　営業日の午前９時～午後５時）

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年2月6日～2025年2月5日)

期　首：12,681円
期　末：14,321円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：　12.9%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年２月５日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用)」の基準価額が上昇したことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。

組入ファンド	投資資産	当期末 組入比率	騰落率
FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）	日本、米国の株式	98.4%	13.7%
日本株配当貴族インデックスマザーファンド	日本株式	49.5%	12.9%
米国株配当貴族インデックスマザーファンド	米国株式	49.6%	15.5%
その他	コールローン等	0.9%	－
FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）	わが国の公社債	0.0%	－0.1%

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。騰落率は期首からのものです。
(注)「FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用)」の組入資産の比率は、「FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用)」に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

（2024年2月6日～2025年2月5日）

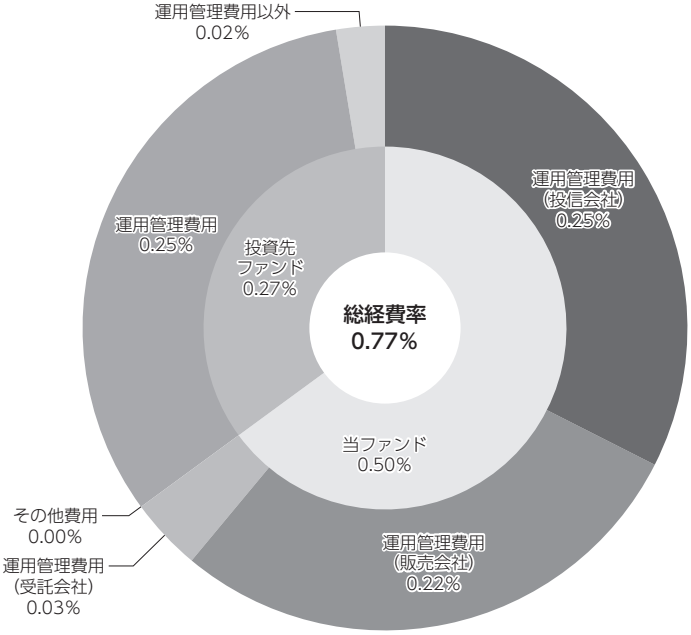
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	71	0.506	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(35)	(0.253)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(31)	(0.220)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	72	0.511	
期中の平均基準価額は、14,011円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.77％です。



（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**0.77**
①当ファンドの費用の比率	0.50
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2020年２月５日～2025年２月５日）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）当ファンドの設定日は2023年１月26日です。

	2023年１月26日 設定日	2024年２月５日 決算日	2025年２月５日 決算日
基準価額　(円)	10,000	12,681	14,321
期間分配金合計（税込み）　(円)	－	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	－	26.8	12.9
純資産総額　(百万円)	354	16,060	23,549

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年２月５日の騰落率は設定当初との比較です。
（注）当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

投資環境

（2024年2月6日～2025年2月5日）

■国内株式市場

国内株式市場は上昇しました。当期初は、円安・米ドル高や米株高などを材料に2024年３月中旬にかけて上昇しました。その後、中東情勢の緊迫化や半導体関連銘柄の業績への懸念が高まり、上値の重たい場面も見られましたが、円安・米ドル高進行などを追い風に７月上旬にはTOPIX、日経平均株価がともに過去最高値を更新しました。しかし、８月初旬には、米国景気の失速懸念が高まったことや、日銀が利上げを決定したことなどから急速に円高・米ドル安が進行し、歴史的な大幅下落となりました。８月中旬以降は急落から落ち着きを取り戻しましたが、自民党総裁選挙や衆議院選挙、米国の大統領選挙など重要な政治イベントが多かったことなどから一進一退の展開が続きました。当期末にかけては、米国大統領選挙でのトランプ氏再選に伴い米国株式市場は減税や規制緩和期待で上昇した一方、国内株式市場は関税賦課などが意識され、底堅くも上値の重い推移となりました。

■米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。2024年７月前半にかけて、物価指標の伸びが鈍化したことで早期の利下げ期待が高まったことや、生成AI（人工知能）市場の成長期待を背景に半導体関連株が買われたことなどから上昇しました。その後、米国政府が対中輸出規制強化を検討しているとの報道により半導体関連株への売りが広がったことなどから一時下落する場面もありましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）による0.5％の大幅利下げの実施や米国大統領選挙でのトランプ前大統領の勝利を受け、減税や規制緩和など同氏の掲げる政策への期待が高まったことなどから12月上旬にかけて堅調に推移しました。当期末にかけては、生成AI市場の成長期待や次期政権下での規制緩和が期待された大型ハイテク株などが堅調に推移した一方で、FRBが今後の金融緩和継続に慎重な姿勢を示し長期金利が上昇したことなどが嫌気され、もみ合い推移となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年2月6日～2025年2月5日)

○当ファンド

「FOFs用日米配当貴族株式ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を高位に保つ運用を行いました。

・FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）

「日本株配当貴族インデックスマザーファンド」及び「米国株配当貴族インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、主として日本及び米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

分配金

基準価額水準、市場動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項　　目	第2期 2024年2月6日～ 2025年2月5日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,320

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

○当ファンド

「FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、主として日本及び米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資します。

・FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）

「日本株配当貴族インデックスマザーファンド」及び「米国株配当貴族インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、主として日本及び米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

・FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指します。

お知らせ

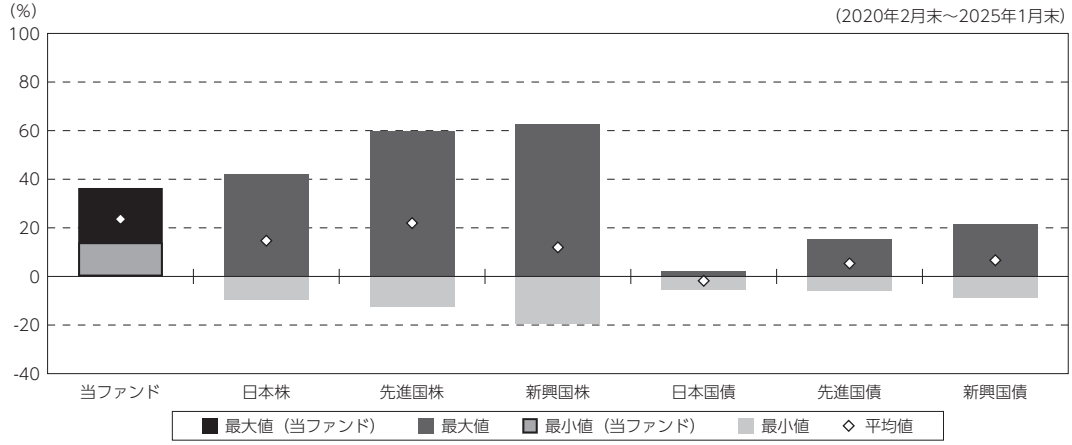
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2023年1月26日から無期限
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社が運用する「FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）」（以下「主要投資対象ファンド」といいます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主として日本及び米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資します。
分配方針	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。 ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.4	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	14.0	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	23.6	14.7	21.9	12.0	△ 1.8	5.3	6.7

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2020年２月から2025年１月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2024年１月以降の年間騰落率を用いております。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

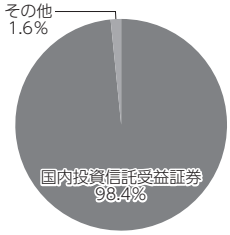
(2025年2月5日現在)

○組入上位ファンド

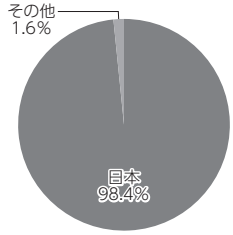
銘　　柄　　名	第２期末
	%
FOFs用日米配当貴族株式ファンド(適格機関投資家専用)	98.4
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

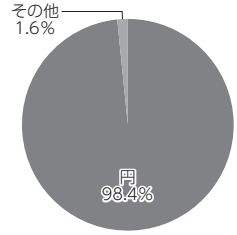
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項　　目	第２期末
	2025年２月５日
純資産総額	23,549,043,626円
受益権総口数	16,443,900,281口
１万口当たり基準価額	14,321円

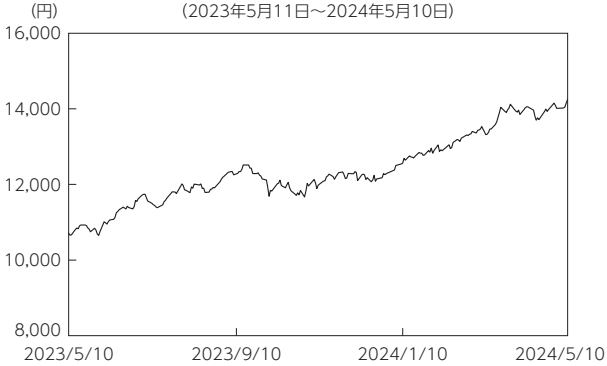
(注) 期中における追加設定元本額は7,997,277,403円、同解約元本額は4,217,909,983円です。

組入上位ファンドの概要

FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

（2023年5月11日～2024年5月10日）



（注）グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとして当社が別途計算したものです。

【１万口当たりの費用明細】

（2023年5月11日～2024年5月10日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 信託報酬	32	0.253
（投信会社）	(26)	(0.209)
（販売会社）	(1)	(0.011)
（受託会社）	(4)	(0.033)
(b) 売買委託手数料	2	0.016
（株式）	(1)	(0.009)
（投資信託証券）	(1)	(0.005)
（先物・オプション）	(0)	(0.002)
(c) 有価証券取引税	0	0.000
（株式）	(0)	(0.000)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
(d) その他費用	2	0.017
（保管費用）	(1)	(0.011)
（監査費用）	(1)	(0.005)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	36	0.286
期中の平均基準価額は、12,452円です。		

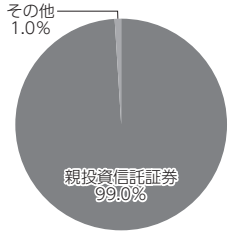
（注）上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位ファンド】

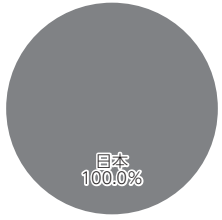
銘柄名	組入比率
	%
日本株配当貴族インデックスマザーファンド	50.0
米国株配当貴族インデックスマザーファンド	49.0
その他	1.0
組入銘柄数	２銘柄

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

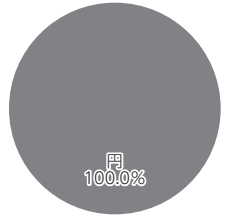
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



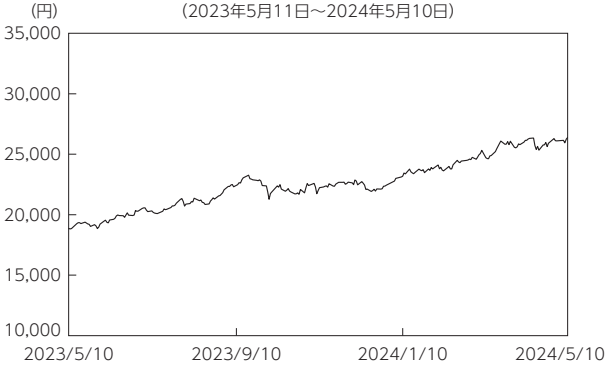
（注）組入上位ファンド、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年５月10日現在のものです。
（注）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

＜ご参考：組入上位マザーファンドの概要＞

日本株配当貴族インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】

（2023年5月11日～2024年5月10日）



（注）グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとして当社が別途計算したものです。

【１万口当たりの費用明細】

（2023年5月11日～2024年5月10日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	3	0.012
（株式）	(2)	(0.008)
（先物・オプション）	(1)	(0.004)
(b) その他費用	0	0.000
（その他）	(0)	(0.000)
合計	3	0.012
期中の平均基準価額は、22,728円です。		

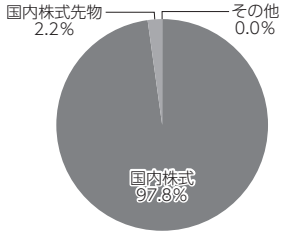
（注）上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

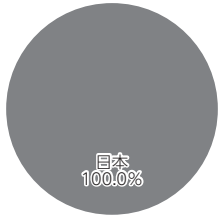
	銘柄名	国・地域	組入比率
			%
1	大和工業	日本	3.2
2	三井金属鉱業	日本	3.2
3	ENEOSホールディングス	日本	3.1
4	住友林業	日本	3.0
5	東ソー	日本	2.8
6	ジャフコ　グループ	日本	2.6
7	日本曹達	日本	2.6
8	三菱瓦斯化学	日本	2.5
9	サンゲツ	日本	2.4
10	電源開発	日本	2.4
組入銘柄数		51銘柄	

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

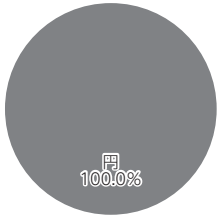
【資産別配分】



【国別配分】



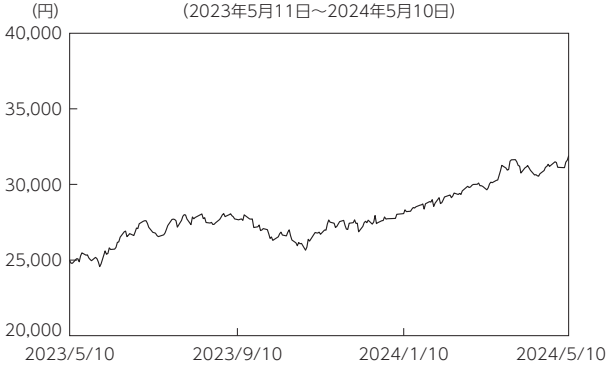
【通貨別配分】



（注）組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年５月10日現在のものです。
（注）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
（注）国別配分においては、上記の他、オフバランスで国内株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して2.2%買建てております。

米国株配当貴族インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとして当社が別途計算したものです。

【１万口当たりの費用明細】

(2023年5月11日～2024年5月10日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	6	0.020
(株式)	(2)	(0.009)
(投資信託証券)	(3)	(0.011)
(先物・オプション)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	0	0.000
(株式)	(0)	(0.000)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	6	0.023
(保管費用)	(6)	(0.023)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	12	0.043
期中の平均基準価額は、28,143円です。		

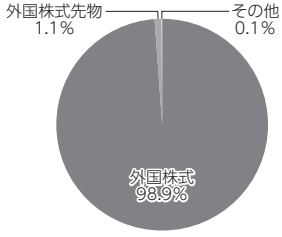
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

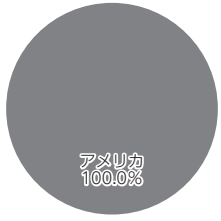
	銘柄名	国・地域	組入比率
			%
1	ALBEMARLE CORP	アメリカ	1.7
2	C.H. ROBINSON WORLDWIDE INC	アメリカ	1.7
3	AMCOR PLC	アメリカ	1.6
4	NEXTERA ENERGY INC	アメリカ	1.6
5	DOVER CORP	アメリカ	1.5
6	AIR PRODUCTS&CHEMICALS	アメリカ	1.5
7	ESSEX PROPERTY TRUST	アメリカ	1.5
8	PENTAIR PLC	アメリカ	1.5
9	ECOLAB INC	アメリカ	1.5
10	COLGATE-PALMOLIVE CO	アメリカ	1.5
組入銘柄数		69銘柄	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

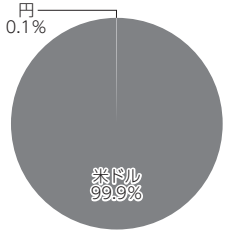
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

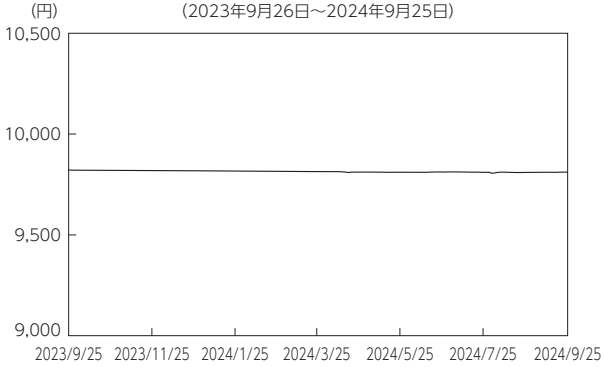


(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年５月10日現在のものです。
(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
(注) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで外国株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して1.1%買建てております。

FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

（2023年9月26日～2024年9月25日）



（注）グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとして当社が別途計算したものです。

【１万口当たりの費用明細】

（2023年９月26日～2024年９月25日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 信託報酬	14	0.143
（投信会社）	(11)	(0.110)
（販売会社）	(1)	(0.011)
（受託会社）	(2)	(0.022)
(b) その他費用	0	0.003
（監査費用）	(0)	(0.003)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	14	0.146
期中の平均基準価額は、9,814円です。		

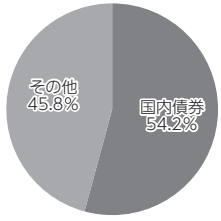
（注）上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

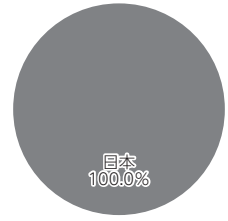
	銘柄名	国・地域	組入比率
			%
1	第1220回国庫短期証券	日本	54.2
2	－	－	－
3	－	－	－
4	－	－	－
5	－	－	－
6	－	－	－
7	－	－	－
8	－	－	－
9	－	－	－
10	－	－	－
組入銘柄数		1銘柄	

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

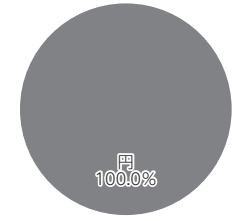
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年９月25日現在のものです。
（注）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債
NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。